

## 第三回専門研修報告

「誰でもできる創作授業」午前:後藤 洋先生(作曲家) 午後:坪能 由紀子先生(日本女子大学)  
平成25年8月22日(木)午前9時~午後4時 品川区立伊藤学園にて

「創作の授業はやらなきゃいけないけど、自信がない」「授業の組み立てが不安」「評価はどうすればいいの?」という切羽詰まった現場の声から生まれた企画ですが、大変な熱気をもった1日となりました。

午前は作曲家後藤洋先生をお迎えし、リコーダーを使った旋律創作の研修でした。



- ・音から音楽にするために必要な要素の確認
- ・創作に必要な枠組の作り方とその実践方法
- ・創作活動の実演
- ・創作授業の評価について

初めての創作活動から段階的に幅を広げていくための制約や枠組について、実際に旋律創作をしながら教えていただきました。また、質問に対してどんな答えであっても必ず受け止めていただける安心感により、積極的に発表する参加者の姿がありました。自信のない生徒の気持ちも理解でき、創作の授業への不安も薄れた午前中でした。

午後の研修は小学校の先生方も含めて70名余の参加者となりました。机を取り払い、全員で1つの円になって椅子に座る研修スタイルにわくわくしながら開始を待ち、数種類の手拍子回しを全員で行うゲームのような創作活動から始まりました。



- ・創作の授業に使われる用語の整理と解説
- ・体を使った即興演奏の実演
- ・楽器を使った即興演奏の実演
- ・創作から鑑賞へつなげるねらいとポイント

手や体を使った即興演奏から、声や動作を加えるとあっという間に広がる音楽の幅に、制約や枠組から広がりをもつ、という午前中の研修内を実践した形となりました。

また、グループで考えて発表する活動から、鑑賞の授業につなげるポイントを教授いただきました。坪能先生は「間違いのない音楽」の必要性を説明され、即興演奏から生まれる創作の授業内容などもご紹介いただき、たくさんのアイデアを持ち帰ることができた研修となりました。

「即興演奏をどのようにアレンジして中学生の創作の授業にするか」というところがこれからの課題になると思います。

現在都中音研では授業研究部を中心にその課題に取り組んでいます。勉強したいという方!ぜひお待ちしております。

(品川区立八潮学園 高道 有美子)

